

2020年3月30日

あおぞら投信株式会社

## 「経済力 活かすためにも 欠かせぬは ポジティブ引き出す 免疫力なり」

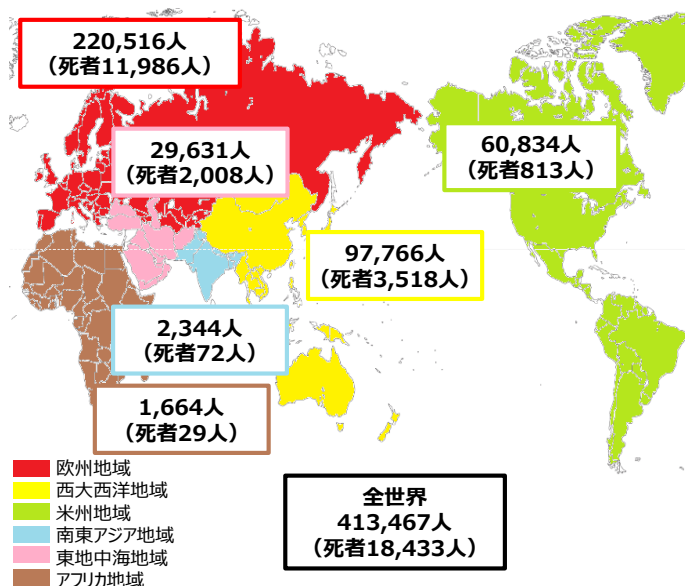
今回のコロナウイルスの影響の範囲はまだまだ見えていない部分も多くありますが、現時点では経済の3要素である『ヒト、モノ、カネ』の流れを再確認しているのだと思います。2008年の金融危機（リーマンショック）では『カネ』の流れが止まってしまうという流動性の問題を露呈しました。さらに言えば、やり過ぎの金融資本主義の終焉を意味すると定義しましたが、残念ながら実際にはその後も金融の“自己増殖的な癖”は抜けていないままに推移している部分もあると考えます。では今回の世界的な危機では何が変わるのでしょうか。

グローバル化の基礎は1930年のウォーラーステインの理論にある「物を媒介として諸個人が交渉しあう関係であると同時に諸個人が言語を媒介として意思を疎通する」という全世界を単一の世界システムとする考え方にあり、日本でも1987年から「グローバリゼーション」という表現が使われてきました。今回のコロナウイルスの感染は中国からと言われていますが、世界中への広がるスピードはこれまで経験のないものでした。出入国を制限するという国際協調も必須となり、これからはより世界の境目がどこにあるのかを考える必要があります。『モノ』の流れの確保の重要性が再認識されて、生産の効率的な分散を模索することになります。そして今後の地球上では、すべての経済活動にはESG※が前提となると思います。さらにそこで働く人たちにとっては、“真の働き方改革”が大きく進むのです。その中にはAIの活用も含まれており、対面の考え方も変わるでしょう。また、お金の価値も変わるのではないのでしょうか。お金をもっていることに価値があると思っていたかも知れませんが、お金は“使う”ことによってはじめて価値を持つのです。ここには金融の役割の変化も必須だと思えます。21世紀に入ってから人類最大のピンチを最大のチャンスと活かせるように、変わるべきは変わっていくことも大切なのだと考えます。

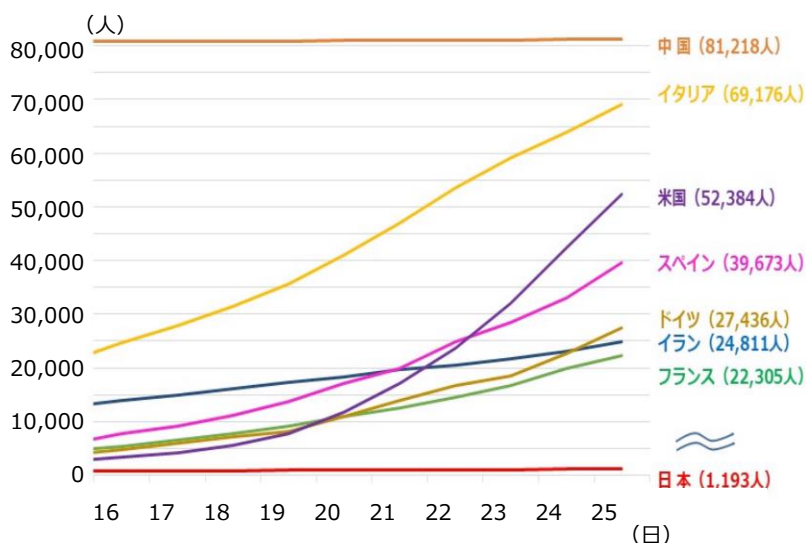
※Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）の頭文字をとった言葉で、企業の経営や成長において、環境、社会、企業統治といった観点からの配慮が必要であるという考え方。

柳谷俊郎

新型コロナウイルスの地域別感染者数と死者数  
(2020年3月25日午前10時時点)



新型コロナウイルスの感染者数上位7ヶ国と日本の感染者数推移  
(2020年3月16日～2020年3月25日時点)



出所：WHO（世界保健機関）と外務省の情報を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>